



千歳市

令和3年7月28日17時30分現在
千歳市長会見（定例会見）発表資料
資料担当：企画部主幹（アイヌ政策
推進担当） 松原 崇人
Tel 0123-24-3131 内線 308
E-mail
ainusuishin@city.chitose.lg.jp

千歳アイヌ協会によるチブ（丸木舟）の制作 について

1 概要

趣旨：チブ（丸木舟）を制作するための知識や技術を次世代へ継承し、チブを使用した伝統的サケ漁（マレク漁）の伝承活動を活性化させること。

背景：アイヌがサケを捕獲する漁法として、マレク（かぎ鉾）を使ったサケ漁は北海道内各地で伝承されているが、チブ（丸木舟）に乗って操船しながら行うマレク漁を伝承している地域は珍しいと言われ、千歳アイヌの特色ある伝承活動とされている。

経過：千歳アイヌ協会が現在使用しているチブ（丸木舟）は、同協会が30年前に制作したものであり、以来、千歳ではチブ制作に関する「知識」や「技術」の継承が行われていない。千歳アイヌ協会は、チブ制作に関する「知識」や「技術」を次世代へ継承するとともに、チブ（丸木舟）の艘数を増やして、千歳アイヌの特色ある伝承活動として、チブ（丸木舟）を使ったマレク漁の伝承活動をより活発に行っていきたいと考えている。

今回の「チブ」制作に使われている「桂の大木」は、新ひだか町の国有林から提供いただいたもので、幹の直径が約1メートル、樹高が約30メートル、樹齢およそ250年といわれる大木を本年2月に伐採し、千歳へ運んできたもの。

※本事業は、国のアイヌ政策推進交付金を活用して実施しています。

2 内容

- (1) 事業名 千歳アイヌ文化イオル再生事業（市が千歳アイヌ協会に事業を委託）
- (2) 内容 チブ（丸木舟）2艘の制作、チブサンケ（進水の儀式）の開催
- (3) 場所 蘭越生活館で制作 ※制作の様子は写真資料（別添）参照

3 今後のスケジュール

- 8月中 1艘目のチブ（丸木舟）が完成
- 8月末又は9月早々 チブサンケ（進水の儀式）を開催
- 9月5日 アシリチェブノミ（サケを迎える儀式）に制作したチブを使用
- 9月上旬 2艘目のチブ（丸木舟）の制作に取り掛かる